

日曹 **ストロビー**[®] フロアブル
(STROBY SC)

登録番号 第21988号
種類名 クレソキシムメチル水和剤
kresoxim-methyl
殺菌剤分類 11
性状 類白色水和性粘稠懸濁液体
有効年限 4年

有効成分 クレソキシムメチル 44.2%
P R T R クレソキシムメチル(PRTR・1種) 44.2%
毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
包装 (100mℓ×10本)×6箱、500mℓ×20本

■特長

1. 新規有効成分クレソキシムメチルにより、従来の殺菌剤とは異なる新しい作用機作を備えています。
2. 各種作物のうどんこ病菌に優れた効果を示しますが、ねぎのさび病菌など他の重要な病害にも幅広い活性が認められています。
3. 予防効果が特に優れていますが、孢子形成阻害効果も示し2次感染を防ぎます。
4. 新しい作用機作を持っているため、現在問題となっている各種薬剤耐性菌に対しても効果が認められています。
5. ベーパーアクションの作用により、植物体に均一に拡散して葉表面のワックス層に吸着されるため、安定した効果を維持することができます。

■適用病害名及び使用方法

(2020年11月25日現在)

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 (倍) | 使用液量 (ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤及びクレソキシムメチルを含む 農薬の総使用回数 | 使用方法 |
|---------------------|-----------------------|-------------|-----------------|----------|------------------------------|------|
| 麦類 (小麦を除く) | うどんこ病 赤かび病 赤さび病 | 2,000～3,000 | 60～150 | 収穫14日前まで | 3回以内 | 散布 |
| 小麦 | 赤かび病 | 500 | 25 | | | |
| やまのいも | | 2,000～3,000 | 100～300 | 収穫7日前まで | 3回以内 | |
| やまのいも (むかご) | 葉渋病 | 2,000 | | | | |
| きゅうり | 炭疽病 | 3,000 | 収穫前日まで | 2回以内 | | |
| きゅうり (花) | うどんこ病 べと病、褐斑病 | | 収穫3日前まで | | | |
| すいか | 炭疽病 | 2,000～3,000 | 100～300 | 収穫前日まで | 3回以内 | |
| メロン | うどんこ病 つる枯病 べと病 | | | | | |
| かぼちゃ | べと病 うどんこ病 | 3,000 | 100～300 | 収穫7日前まで | 3回以内 | |
| にがうり | | | | うどんこ病 | | |
| うり類 (漬物用) | つる枯病 炭疽病 | 3,000 | 100～300 | 収穫前日まで | 2回以内 | |
| ズッキーニ | うどんこ病 | | | | | |
| なす | すすかび病 | 4,000 | 100～300 | 収穫前日まで | 3回以内 | |
| ピーマン | うどんこ病 | | | | | |
| ししとう | 黒枯病 | 4,000 | 100～300 | 収穫前日まで | 2回以内 | |
| とうがらし類 (ししとうを除く) | うどんこ病 | | | | | |
| いちご | | 3,000～5,000 | | | 3回以内 | |

殺菌剤 日曹ストロビーフロアブル

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数(倍) | 使用液量(ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤及びクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数 | 使用方法 | |
|-------------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|--------------------------|--------------|--------|
| はくさい | 黒斑病、白斑病 べと病 | 3,000 | 100～300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散 布 | |
| サラダ菜 | 褐斑病 | | | 収穫7日前まで | 2回以内 | | |
| たかな たいさい | 白斑病 | | | | | | 収穫前日まで |
| おおさきな すいぜんじな | 黒斑病 | | | 収穫14日前まで | 3回以内 | | |
| のざわな | べと病 | | | 3,000～4,000 | 収穫前日まで | | 2回以内 |
| タアサイ | 白さび病 | | | | | | 3回以内 |
| なばな | さび病 | | | 3,000 | 3回以内 | | |
| にら にら(花茎) | 白斑葉枯病 | 2,000 | 収穫7日前まで | 2回以内 | | | |
| ねぎ | 黒斑病、さび病 黄斑病 | 3,000 | 2,000～3,000 | 収穫21日前まで | 2回以内 | | |
| わけぎ | 灰色かび病 | 2,000 | 100～300 | 収穫14日前まで | 3回以内 | | |
| たまねぎ | 灰色腐敗病 | 2,000 | | 収穫7日前まで | | | |
| 葉にんにく にんにく | さび病 | 2,000～3,000 | 3,000 | 収穫14日前まで | 2回以内 | | |
| にんじん | 黒葉枯病 斑点病 | 2,000 | 2,000～3,000 | 収穫7日前まで | | | |
| しゅんぎく | 炭疽病 | 3,000 | 2,000 | 収穫14日前まで | 3回以内 | | |
| セルリー | 斑点病 | 2,000 | 2,000～3,000 | 収穫前日まで | | | |
| てんさい | 葉腐病 褐斑病 | 2,000 | 2,000 | 収穫21日前まで | 2回以内 | | |
| 食用ぎく きく(葉) | 白さび病 黒斑病、褐斑病 | 3,000 | 2,000 | 収穫3日前まで | | | |
| きく | 黒斑病、褐斑病 | 2,000～3,000 | 2,000 | 収穫7日前まで | 3回以内 | | |
| 食用ゆり | 葉枯病 | 2,000 | 3,000 | 発病初期 | | | |
| 食用金魚草 | さび病 | 3,000 | 2,000 | 収穫7日前まで | 2回以内 | | |
| たらのき | そうか病 | 2,000 | 2,000 | 収穫75日前まで | | | |
| パセリ | うどんこ病 | 3,000 | 100～500 | 収穫14日前まで | 1回 | | |
| しそ科葉菜類 (しそを除く) | 灰色かび病 | | | 収穫7日前まで | 2回以内 | | |
| しそ | 斑点病 | 4,000 | 2,000 | 収穫前日まで | 3回以内 | | |
| アスパラガス | | 2,000 | 100～300 | 収穫3日前まで | 2回以内 | | |
| 食用トレニア | うどんこ病 | 4,000 | 100～300 | 収穫7日前まで | | | |
| 食用パンジー | | | | 収穫45日前まで | | | |
| 食用西洋たんぽぽ | | 3,000 | 100～300 | 収穫3日前まで | | | |
| 食用かえで(葉) | | | | | | | |
| ディル(葉) チャービル | | | | | | | |
| らっきょう | 乾腐病 | 200 | - | 植付前 | 1回 | 30分間 種球浸漬 | |

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数(倍) | 使用液量(ℓ/10a) | 使用時期 | 本剤及びクレソキシムメチルを含む農薬の総使用回数 | 使用方法 |
|------|------------------|-------------|-------------|----------|--------------------------|------|
| 茶 | もち病 網もち病 | 2,000 | 200～400 | 摘採10日前まで | 3回以内 | 散布 |
| | 炭疽病、輪斑病 新梢枯死症 | 2,000～3,000 | | | | |
| りんどう | 褐斑病、黒斑病 | 2,000 | 100～700 | 発病初期 | | |
| アスター | さび病 | 2,000～3,000 | 100～300 | | | |

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 使用に当たっては容器をよく振ってください。
3. 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
4. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
5. 小麦に対して希釈倍数500倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
6. いちごの施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、薬害を防ぐため散布後十分な換気を行ってください。また、特に散布後高温が予想される場合は使用しないでください。
7. 浸透性を高める効果のある展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当たっては事前にその適否を確認してください。
8. メロンに使用する場合は、交配～幼果期までの散布では薬害を生じることがあるので、この時期の散布はさけてください。
9. きくに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用しないでください。
10. きくに使用する場合は、他剤との混用で薬害が生じる場合があるので注意してください。
11. はくさいに使用する場合は、結球後期(あたまとし)までの散布で薬害が生じる場合があるので、使用をさけてください。
12. はくさいに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので、使用をさけてください。
13. 食用金魚草に使用する場合は、開花後の花に薬害を生じるおそれがあるので、開花前までに散布してください。また、花に薬害が生じるため、観賞用である(非食用)金魚草には使用しないでください。
14. のぎわなに使用する場合は、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
15. しゅんぎくに使用する場合は、幼苗期の散布は多湿条件下では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
16. アスパラガスに使用する場合は、高温多湿条件下では薬害を生じる場合があるので使用をさけてください。展着剤の加用はさけてください。
17. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
18. 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意

19. 眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
20. 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。

水産動植物への影響：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所に保管してください。

- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。